

2008年4月
(平成20年)

No. 26

Amizade

アミザーデ

～姉妹都市協会ニュース～

発行 中津川市姉妹都市友好推進協会
〒508-8501 岐阜県中津川市かやの木町2番1号
中津川市役所 文化スポーツ部生涯学習課
TEL 0573-66-1111 FAX 0573-65-5795
e-mail shogai-e@city.nakatsugawa.lg.jp



【アミザーデ】第26号発刊にあたって

会長 鈴木 嘉進



レジストロ市とは姉妹都市提携以来27年間友好を深めて来ました。ブラジルと日本との友好の歴史は古く、移民船「笠戸丸」が781名を乗せてサントス港に着いたのは1908年8月でした。現在、その子孫140万人はブラジルで世界最大の日系社会を形成しています。一方、日系ブラジル人が日本で就労しはじめて20年が経過しました。在日するブラジル人とその家族は30万人を超えました。今年は【日伯交流年】と位置づけ、両国及び両国民による交流促進が進められています。遠い両国を繋ぐのは今も昔

も【人】なのではないかと思えます。

この大きな節目の今年、中津川市ブラジル公式訪問（ブラジル日本人移民100周年／レジストロ日本人移民入植95年／岐阜県人会創立70周年）慶祝団（団長：中津川市長）を派遣（5/21～）致します。訪問に際しては、和（日本文化＝和太鼓）の伝承、人道的支援（幼児生命維持器）事業、桜植樹等を現地で実施する計画です。

ブラジル経済はブリックス（新興市場国）として全般的に好調と聞きます。鉄鉱石は埋蔵・輸出量が世界最大級の資源大国であり、近年は自動車・航空機産業の成長が目立ち、更に、代替エネルギーのエタノール生産量も拡大していると云われています。近い将来日伯の力関係の逆転も有りうるのです。しかし、日本も地域間格差が問われている様に、広大な伯国も同様にレジストロ市も格差を実感している地方都市なのです。両市も相互に視点を変えて将来の在り方を模索する機会にしたいと思えます。今後とも、姉妹都市友好推進協会の事業推進に、ご支援賜ります様お願い申し上げます。



2008年初釜

様々なイベントを開催しています。一年間の行事の中で、最も有名で大規模に行われるのが「灯籠流し」と「すし祭り」です。昨年11月2日には、ブラジルのお盆に合わせ、第53回灯籠流しが開催され、約1万5千人の見物客が訪れました。すし祭りは「日本人移民の日」の6月18日前後の週に毎年開催され、昨年は約5千人の人々が色々なショーを見ながらすしや日本料理を味わいました。ますます有名になりつつあるこれらのイベントは、現在では州政府の公式イベントのカレンダーにも掲載されています。

レジストロ文化協会には、日本学校、茶道、生花、俳句、踊り、太鼓、民謡、カラオケ、ラジオ体操等の部活動があります。それぞれの部が一年中練習に励み、現在ではレジストロ市内のイベントだけではなく、あちこちに招待されるようになりました。その中で、もっとも活躍しているのは「和太鼓グループ」と「民謡大和会」です。昨年は47回も太鼓演奏する機会があり、全ブラジル太鼓選手権大会にも出演出来るようになりました。

私は日本から帰国後、茶道のけいこを始め、1月13日には、ブラジル裏千家が主催しサンパウロ市で行われた2008年初釜にも参加しました。

こちらで建築家として働く私は、レジストロ市ブラジル日本移民100周年委員会やレジストロ文化協会の活動にも参加していますので、日本に関する相談を多く受けます。また、前述したジェットプログラムの参加者として、日本総領事館が主催するイベントも時々手伝っています。

「海外日系人大会」は、海外に在住される移住者、日系人のみなさまが母国日本で一堂に会し、在住国の実状を日本に知らせ、あわせて国際交流、国際理解、国際親善を深め、世界の対日理解の促進と強化を図ることを目的に毎年開催されています。2007年の第48回大会は、第14回パンアメリカン日系人大会との合同大会として、日本人移民100周年を迎えるブラジルのサンパウロで行われ、幸いにも参加することができました。

ブラジルでは、今年6月18日に「日本人移民100周年祭」を盛大にお祝いする行事が全国的に計画され、日本からは、皇太子殿下の公式訪問をはじめ、多くの日本の方々を訪れる計画であるとお聞きしています。

それに先立つ5月には、中津川市からレジストロ市に慶祝団がいらっやいますので、現在レジストロ市ではその準備を進めています。また、サンパウロ市で行われる「岐阜県人ブラジル移住95周年記念式典・ブラジル岐阜県人会創立70周年記念式典」には、岐阜県知事をはじめ県内各市からもご参加いただけるとのこととです。

私は、ブラジル日本移民100周年を一人でも多くの皆さんに知ってほしいと思っています。これを機会に大いに日本をアピールしたいとも考えています。今年が、皆様方のご協力で、これまでの歴史を振り返りながら、この感激をお互いに共有できるとともに、これからの日伯の更なる交流が進むよい年となることを願ってやみません。



日本総領事宅でのレセプションにて



高橋国彦氏と

清水リーナ春美さんは、岐阜県国際交流員として3年間活躍され、平成17年の姉妹都市提携25周年記念事業の折には、通訳としてお世話になりました。

ロータリークラブ
レジストロオウロのクリスマスパーティー

レジストロ市からこんにちは ～清水リーナ春美～

ブラジル連邦共和国サンパウロ州レジストロ市の清水リーナ春美です。私は、平成15年から平成17年の三年間、(財)自治体国際交流協会のジェットプログラムの国際交流員として、岐阜県国際交流センター(岐阜市)で仕事をさせていただきました。また、平成17年11月には、姉妹都市提携25周年記念のレジストロ市友好親善団の一員(通訳)として中津川市を訪問、多くの市民の方々と交流することができました。

当時、私は、日系二世ブラジル人として母国ブラジルを紹介していましたが、今は逆に、日本人がブラジルに移民を始めてから100周年ということで、ブラジルにおいて日本文化を紹介することが多くなり、大切な役割にもなっています。

移民100周年を迎える現在、こちらでは三世、四世、五世や六世にまで入る時代になりました。そんな中、日常生活では、自分たちの先祖のルーツ、歴史や文化、食材や言葉など、日本文化とのつながりがますます希薄化していく傾向にあり、日本人としてのアイデンティティーが失われてきているのが現状です。若者たちは、日本人の顔をしていても、日本についてほとんど知らない者がたいへん多くなってきています。

1990年6月に入国管理法が改正され、日系の方が就労ビザで日本に入国可能となり、出稼ぎブームが始まりました。時を同じくしてブラジル国の経済が不景気に入ったこともあり、多くの日系ブラジル人が日本に働きに行き始めました。



レジストロ文化協会

18年後の今、日本での在住ブラジル人人口は約32万人です。積極的に考えれば、その影響で、少しは日本文化や食べ物に興味をもったり、日本を理解する人が増えたと言えるのではないかと考えています。

最近ブラジルでは、日本人移民100周年祭が大々的にPRされるのに伴い、ニュースやドキュメンタリー、新聞、雑誌などに、日本人移民のことが話題として取り上げられることが多くなりました。

私たちのまちレジストロ市は、「開拓移民ゆかりの地」という名称をサンパウロ州政府からいただいております。これにより、ブラジル国内での日本人移民のことに、少しずつブラジル人だけではなく日系人にも理解が深まるようになってきました。これは、レジストロ文化協会の会員の皆様をはじめ、レジストロ市に住んでいる日系人の方々のおかげだと私は思っています。

レジストロ市における日系人の中心的組織であるレジストロ文化協会は1994年に創立されました。レジストロ・ベースボール・クラブの文化部として活動していたものです。最初協会は、市の中心部にある小さな場所を借りていましたが、2003年10月にレジストロ市日本人入植90周年事業の一環として、中津川市、中津川市姉妹都市友好推進協会並びに中津川市友好訪問団からもご支援いただき日本文化協会会館を落成することが出来ました。

この会館は、およそ800平方メートルで、日本文化の発信と日本を身近に感じよう風景を皆さんに伝える建物として、ともに建築家である私と高橋国彦氏(現協会副会長)が共同設計しました。

今では、日系人だけでなく、日系以外の方も会員として協力され、



清水リーナ春美



ブラジル太鼓大会

給食にポルトガル料理

全国学校給食週間にちなんで、西小学校（原一敏校長）では1月22日にブラジル料理が登場しました。



給食をいただいています。

この日のメニューは、『チキンブラジルふうバーベキューソース』『カルル』『レーズンパン』でした。この日訪問した2年3組の児童たちは、「おいしい」と言って残さず食べていましたが、ブラジル人のエヴァリスト・ミセラ・トノスさんは、「うちで食べるのとちよっと違う」と話していました。献立を

21日 みかん からゆずあえ わかさぎのからあげ	22日 ヘルシーサラダ チキンブラジルふう バーベキューソース	23日 キウイ ピーナツあえ さけのゆであんやき
ごはん すきやき	カレー カルル	だいてん あかかぶごはん
エストこんだて	29日 りんご りんごんせらダ	30日 はっさく だいてんせらダ

献立表



つくる栄養士の山本弥生先生によりますと、「同校では、昭和56年の姉妹都市提携の締結から、毎年学校給食週間には姉妹都市・郷土料理としてブラジル料理を出してきましたが、味付けなどは日本人の子どもたちの口に合うようにしています。」とのことでした。

また、このクラスでは、あいさつなどの簡単なポルトガル語をみんなが話せるようになっていきます。

児童数654人、学級数21の学校ですが、数人のブラジル人児童が学んでいます。

※ 現在、中津川市内のほとんどの小学校で給食週間にはブラジル料理が出されています。

ブラジルのことはく山本 (ポルトガル語) ちよ

- ① せんせい (アローゼイター)
- ② コんにちは (ボンヂアタルボナ)
- ③ 父おとこ (パパ)
- ④ 母おとこ (ママ)
- ⑤ ごめんなさい (シュス)
- ⑥ おはようございます (ボンヂア)
- ⑦ ありがとう (オブリガド)
- ⑧ たまには (アハ)
- ⑨ あまは (ア)
- ⑩ いや (ナ)

【中津川市姉妹都市友好推進協会】 ご入会のお願い

中津川市姉妹都市友好推進協会では、平成20年度の会員を募集しています。会費は次のとおりです。

- 個人 1口 1,000円
- 団体 1口 5,000円
- 法人 1口 10,000円

申込用紙は市内金融機関、中津川商工会議所、市役所案内、各コミュニティセンター、各総合事務所にございます。

多くの皆さんにご入会いただきますよう、よろしくお願ひします。

問い合わせ先

中津川市姉妹都市友好推進協会 (市役所生涯学習課内)
電話 (0573) 66-1111 (内線679)

【ブラジルに親しむ会】

市内サークル「ブラジルに親しむ会」では、姉妹都市レジストロ市のあるブラジルについて知識を深めています。興味のある方、公用語であるポルトガル語を学びたい方は、気軽にご参加ください。

問い合わせ先

ブラジルに親しむ会 酒井 源五
電話 (0573) 66-1795



レジストロ市にある鳥居